

住宅用火災警報器お手入れの3つのポイント



乾電池タイプは交換を忘れずに

乾電池タイプの火災警報器は、電池の交換が必要です。定期的な作動点検のときに電池切れかな？と思ったら早めに交換することをおすすめします。また、電池が切れそうになったら、音やランプで交換時期を知らせてくれます。



定期的に作動するか点検しましょう

定期的（1か月に1度が目安です。）に、火災警報器が鳴るかどうか、テストしてみましょう。また、長期的に家を留守にしたときも、火災警報器が正常に作動するかテストしましょう。



おおむね10年をめぐに、本体を交換しましょう

火災警報器の交換は、機器の交換時期を明記したシールが貼ってあるか、「ピー」という音などで交換時期を知らせます。その目安がおおむね10年です。詳しくは購入時の取り扱い説明書を確認してください。

点検方法は、本体の引きひもを引くものや、ボタンを押して点検できるもの等、機種によって異なるため、購入時に点検方法を確認しておきましょう。

住宅用火災警報器の維持管理大丈夫ですか？“もしも”に備え点検しましょう。

設置がまだお済でないお宅は“自分と家族の命を守るため”に早期に設置しましょう。

防府市消防本部予防課予防係（23-9903）

